

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年3月15日（水）

2 確認箇所

- ・地下水バイパス一時貯留タンクエリア
- ・サブドレン他水処理施設一時貯水タンクエリア 他

3 確認項目

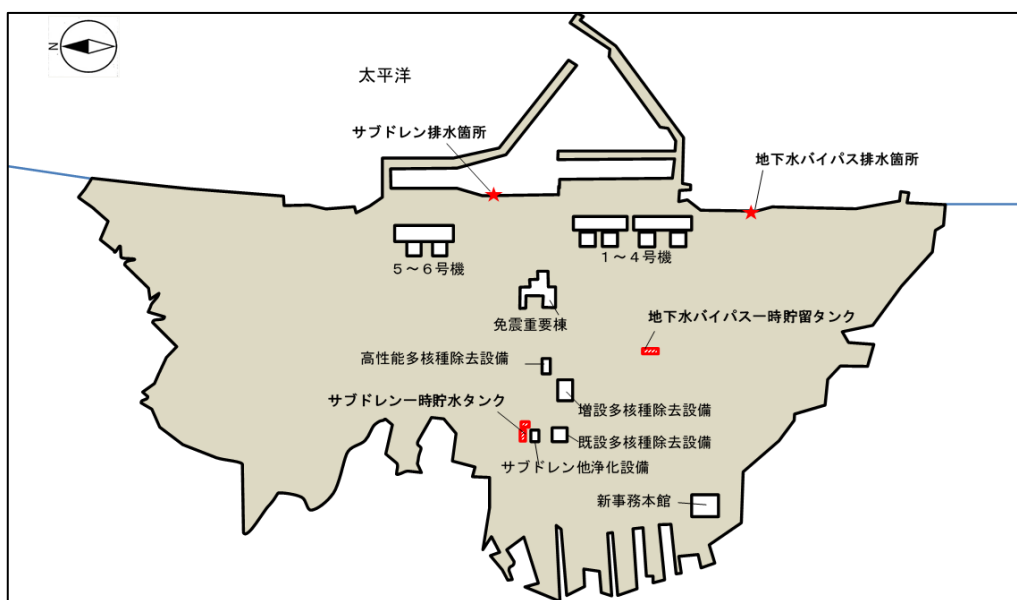
- (1) 地下水バイパスの排水状況
- (2) サブドレン処理水の排水状況

4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では、原子炉建屋等に流入する地下水量を低減するため、地下水バイパスやサブドレン他水処理設備などの施設を設置し、運用目標に適合した水質の地下水を定期的に海洋へ排水している。（図1）

今回、地下水バイパス一時貯留タンク及びサブドレン他水処理施設一時貯水タンクからの排水が予定されていたことから状況を確認した。

（前回確認：[令和4年12月8日](#)）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図

(1) 地下水バイパスの排水状況について

地下水バイパス一時貯留タンクは全9基からなり、3基毎にグループ1から3までに分けられており、今回はグループ3から排水が行われた。

(写真1)

- ・東京電力社員が、所定の手順に沿って排水操作を行っていることを確認した。なお、排水弁の状態等については、スマートフォンを使用したビデオ通話により、免震重要棟集中監視室においてもクロスチェックを行っていた。
- ・排水を行わないグループ1及び2の排水弁が「全閉」になっていることを確認した後、グループ3の排水弁を「全開」にした。(写真2)
- ・排水弁「全開」後、排水ポンプや配管等に異常がないことを確認した後に、免震重要棟集中監視室からの遠隔操作により排水ポンプが起動し排水が開始された。(写真3)
- ・排水開始後、排水ポンプや配管等に漏えい等の異常は確認されなかった。



(写真1)

地下水バイパス一時貯留タンク
エリアの概観 (南東側から撮影)



(写真2-1)

排水しないグループ2の排水弁の状
態(「全閉」)確認状況



(写真 2 - 2)
排水するグループ 3 排水弁の「全開」作業の状況



(写真 3)
排水ポンプ起動の確認状況

(2) サブドレン処理水の排水状況について

サブドレン他水処理施設一時貯水タンク（以下「一時貯水タンク」という。）は全 11 基からなり、今回はこのうち 1 基（一時貯水タンク (G)）から排水が行われた。（写真 4）

- 地下水バイパス一時貯留タンクの排水と同様に、東京電力社員が、所定の手順に沿って排水操作を行っていることを確認した。
- 排水を行う一時貯水タンク (G) 以外の一時貯水タンクの出口弁が「全閉」になっていることを確認した後、一時貯水タンク (G) の出口弁を「全開」にした。（写真 5）
- 出口弁「全開」後、移送ポンプや配管等に異常がないことを確認した後に、免震重要棟集中監視室からの遠隔操作により移送ポンプが起動し排水が開始された。（写真 6）
- 排水開始後、移送ポンプや配管等に漏えい等の異常は確認されなかった。



(写真4)
一時貯水タンクの概観
(北東側から撮影)



(写真5-1)
排水しない一時貯水タンク（J）の
出口弁の状態（「全閉」）確認状況



(写真5-2)
排水する一時貯水タンク（G）の出
口弁「開」操作状況



(写真6)
移送ポンプ起動の確認状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。